



## 便秘薬について

今回は便秘症の適応をもつ内服(錠剤・粉薬)の院内薬をまとめてみました。

### 刺激性下剤:大腸を直接刺激し蠕動運動を亢進させて排便を促す

#### ➤ アローゼン顆粒 (0.5g/包)

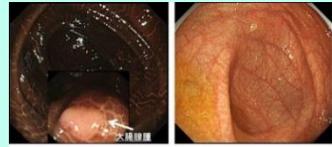


- ・通常成人1回0.5~1.0gを1日1~2回経口投与する。
- ・主な副作用: 低K血症、着色尿、腹痛
- ・長期連用による耐性の増大等のため効果が減弱する。
- ・尿が●または●になることがある。  
黄褐色 赤色

\*アローゼンの添付文書、IFに記載はありませんが、注意が必要です!!

センナ、大黃、アロエ等のアントラキノン系下剤の長期連用により大腸粘膜の表面に黒褐色の豹紋状、あるいは石畳状の模様ができる。特に強い自覚症状はないが、下剤を服用しないと排便が困難となる。服用期間4~13ヶ月で出現し、休薬後約1年で消失する。

参考:久里浜医療センター



#### ➤ センノシド錠12mg「トーワ」



- ・センノシドA・B(又はそのカルシウム塩)として、通常成人1日1回12~24mgを就寝前に経口投与する。高度の便秘には、1回48mgまで増量可。
- ・主な副作用: 低Na血症、低K血症、着色尿、腹痛、大腸メラノーシス
- ・長期連用による耐性の増大等のため効果が減弱する。
- ・尿が●または●になることがある。  
黄褐色 赤色

### 塩類下剤:大腸内の浸透圧UPして水分を引き寄せて排便を促す

#### ➤ マグミット錠330mg, 500mg

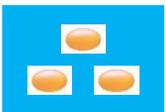


- ・酸化マグネシウムとして、通常成人1日2gを食前または食後の3回に分割経口投与するか、または就寝前に1回投与する。
- ・主な副作用: 高Mg血症(全身倦怠感、筋力低下、起立性低血圧、徐脈など)
- ・牛乳やCa製剤と一緒に服用しない。

マグミット服用により代謝性アルカローシスが持続すると...  
尿管でのCa再吸収が増加↑  
⇒**ミルクアルカリ症候群**(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)に!!

### Cl<sup>-</sup>チャンネルアクチベーター:小腸に存在するClC-2クロライドチャンネルを活性化 →腸管内への水分分泌を促進し排便を促す

#### ➤ アミティーザカプセル24μg



- ・通常、成人にはルビプロストンとして1回24μgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。
- ・主な副作用: 下痢、悪心(吐気)
- ・空腹時に服用すると吐気が出やすくなる。



下痢



吐気

# グアニル酸シクラーゼC受容体アゴニスト

:腸管に存在するグアニル酸シクラーゼC (GC-C) 受容体を活性化

→cGMP濃度UP→CFTR (Cl<sup>-</sup>チャネル) 活性化→腸液分泌,腸管輸送能を促進



## ➤ リンゼス錠0.25mg



- ・通常、成人にはリナクロチドとして0.5mgを1日1回、**食前**に経口投与する。なお、症状により0.25mgに減量する。
- ・主な副作用：重度の下痢、腹痛
- ・**食後に服用**すると、食前投与した時に比べて**下痢(軟便を含む)の発現率が高い**。

# 胆汁酸トランスポーター阻害薬

:回腸に存在する胆汁酸トランスポーター (IBAT) を阻害→大腸内の胆汁酸量UP

→大腸内に水分を分泌→消化管運動,排便を促す

## ➤ ゲーフィス錠5mg



- ・通常、成人にはエロビキシバットとして10mgを1日1回**食前**に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、最高用量は1日15mgとする。
- ・主な副作用：腹痛、下痢
- ・**食後に服用**すると、**薬の効果が減弱**する可能性がある。

食事の刺激により胆汁酸が放出!!  
⇒それよりも前に投与しておいた方がgood★

アミティーザは薬価改定により値段が40円ほど安くなり、リンゼスは新たに慢性便秘症の適応が追加になりました。アミティーザ、リンゼス、ゲーフィスは服用時点を間違えると副作用が強くなり、薬の効果が減弱するので用法には注意が必要です。従来から使用されているセンノシドやアローゼンは強力ですが依存性が高く、マグミットも高齢者や腎機能の悪い患者さんは要注意です。まずは、①食事の改善(食物繊維,発酵食品,水分)、②運動、③排便習慣、④ストレス発散を行い、腸内環境を整えることが大切です。



	センノシド /アローゼン	マグミット	アミティーザ	リンゼス	ゲーフィス
適応症	便秘症	便秘症	慢性便秘症	慢性便秘症	慢性便秘症
用法	1日1回/1日1~2回 就寝前	1日1~3回 食前、食後、就寝前	1日2回 朝・夕食後 (通常2C 2×)	1日1回 <b>食前</b> (通常2錠 1×)	1日1回 <b>食前</b> (通常2錠 1×)
作用発現時間	8~10時間後	8~10時間後	初回自発排便 24時間以内 (60% : 36/62例)	初回自発排便 24時間以内 (70% : 180/249例)	初回自発排便 24時間以内 (85% : 59/69例)
薬価 (1錠あたり)	5円 / 7.2円	5.6円	123円	89.9円	105.8円
肝障害患者	——	——	中等度・重度は 慎重投与	——	重度は慎重投与
腎障害患者	——	慎重投与	重度は慎重投与	——	——
妊婦	子宮収縮による早産の 危険性あり*1	——	<b>禁忌</b>	*1	*1
授乳	乳児に下痢の 報告あり*2	——	*2	*2	*2
注意点	長期連用による耐性	抗菌薬やCa製剤などの 相互作用	空腹時服用による 吐気	食後服用による 下痢・軟便	胆汁酸製剤やAl含有 製剤との相互作用

\*1 治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること  
\*2 授乳を避けさせること